



東海大学



家族看護研究会

11月の事例：母は終末期。思春期の子どもはわかっていずノーマス。

Aさん(50代)は長年乳がんで化学療法を受けてきたが、もう治療はなく、神経浸潤の激痛の中神経ブロックに通ってくる。入院を嫌がり、家でもジーと我慢している様子。思春期の子ども3人は、そんな母を気遣う風もない。Aさんも夫も「子供たちには知らせたくない」と言う。あとわずかの命なのに・・・と看護師はあせる。



終末期の家族に<真に見つめ合う関係>をどう作り上げていくのか。

Peaceful End of Life Practice のケア観点からディスカッションします。

日程と場所が変更となっています。

●開催日時●

2013年11月16日(土)
13:00~16:00

●場所●

東海大学伊勢原キャンパス
3号館5階 511教室

●アクセス●

小田急小田原線「伊勢原駅」下車
徒歩20分バス10分(東海大学病院
下車)

●問合せ先●

0463-93-1121 (代表)
担当：井上

●研究会ホームページ●

<http://kazokuns.ihs.u-tokai.ac.jp>
メールアドレス:kazoku@tokai-u.jp